

はっぴい新聞

児童発達支援 放課後等デイサービス

 5月号
 2023 vol.38

児童発達支援

ソーシャルスキルトレーニング (SST)

ソーシャルスキルトレーニングは世の中の人々との関わる時に必要な技能の事です。その技能は大きく分けて4つに分けられます。

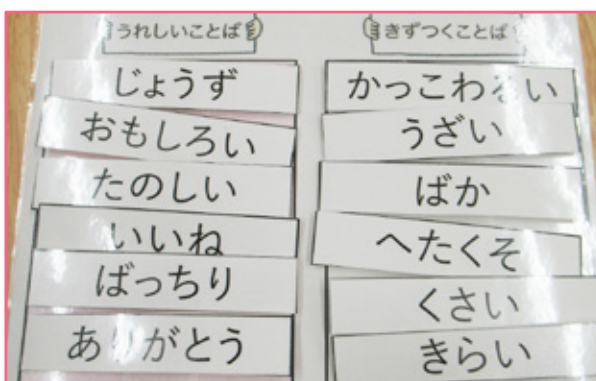
言葉のスキル・気持ちのスキル・行動のスキル・自己認知のスキルです。ソーシャルスキルトレーニングで期待できる効果は、友だちと良い関係が築けるようになる。ストレスが上手く対処できるようになる。感情をコントロールできるようになる。周りの人に手伝ってもらえるようにお願いができるようになる。自分の言動を修正する力がつくようになる。社会ルールやマナーが身につくなどです。

ひまわり教室では子どもを真ん中に置き楽しく支援に参加するように行っています。そのような中でも時には、トラブルも起こります。小集団支援の中で子どもたちがお友達に気持ちをしっかりと伝えたくてつい強い言葉を言ってしまふ。お友達からちょっとした言葉で悲しい気持ちになってしまった。お友達に話しかける言葉が見つからず、叩いてしまふ。嫌な気持ちになっても伝えられずグッと気持ちを我慢しそのまま気持ちに蓋をしてしまふ。恥ずかしい気持ちを隠すために暴言を吐いてしまふ。など色々なお子さんの姿が見られます。こんな時一度支援を止めます。そして言った子、言われた子の気持ちを言葉にしていきます。どんな行動をしたらよかったか、どんな言葉で伝えればよかったか、相手はどんなきもちになっているか、周りで見ているお友達はそんな時どんな気持ちになるか、そして枠を作らない子どもたちの自由な考えを大切に「次はどうすれば上手くいくのか？」の行動や言葉を一緒に考えて意見をまとめていきます。

個別支援の際もSSTカードを使ったり、パペットを使い寸劇をしたりしこんな時どうしたら良いか子どもに投げかけ言葉を引き出します。

教室で取り扱っている教材の一部紹介いたします。

こんな言葉を言われたら
 みんなは嬉しいか・悲しいかどっちになるだろう？



もし、こんな事があったらなんていう？
 自分はどんなきもちになるだろう？と投げかける時



こんな時、自分の気持は何番に当てはまるかわかるかな？
 どんな言葉をいいたいかなあ？



自分自身の心を理解すること。自分の中にどんな感情があるのか？
 その感情はどんな時に出てくるのか？調べる時に使います。



放課後等デイサービス

体力測定

今回は、立ち幅跳び、反復横跳び、握力、5m時間往復走、ポンポン投げの5種目を行いました。5m往復走とポンポン投げは今回、新しく行った種目です。5m時間往復走は15秒以内に何回、5mの距離を往復できるか計りました。目印のところに手でタッチをしなければいけなく、「タッチして戻る」といった瞬発力も必要になります。一回行っただけでも息がきれるほど体力を使う種目でした。ポンポン投げでは、毛糸を束ねてボールを作り、どれくらい飛ばるか距離を計りました。投げた後も「線から出ない」ことを意識し投げました。投げるものが軽くて遠くまで投げることができていました。

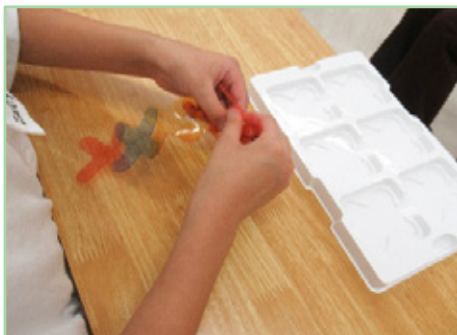
記録は2回ずつ行い、前の記録より良い記録を出そうと頑張っていました。良い記録が出ると「やったー」と喜んだり、指導員とハイタッチしたりしていました。



手先の運動

手先の運動では、微細運動を中心にを行い、文字を書く練習をしました。また、キャンディプラスという脳育玩具を使用しました。指先をたくさん使うため、微細運動として取り入れました。体温であたためると伸びたりくっついたりします。やり方を覚えた後は、自由に作りました。「飛行機、作った」などいろいろ考えながら作っていました。微細運動だけではなく、発想力や集中力なども育みます。微細運動は他にもスプーン、トンガ、箸、洗濯バサミなどいろいろなものを使いました。最初は難しそうにしているお子様でも何回か繰り返行なっていくうちにコツを掴み、スムーズにできるようになっていました。

鉛筆の持ち方をおさらいし、「書く」活動に取り組みました。運筆では線からはみでないように書く練習をしました。「ゆっくり、丁寧に」をねらいとしています。普段、何気なく書いている字でも見本を見ながらゆっくり書くことで集中力の向上にもつながります。



子育てハート便



児童発達支援管理責任者 大明由里香

児童発達支援で児童発達支援管理責任者をしております。大明由里香と申します。

職務としては、支援の前に、お子様の発達をアセスメントし、どのようなアプローチをすべきかを考えていくことを主に行っています。支援を考えるうえで大事にしたいことは、「今、できないことができるようになる」だけでなく、アプローチの目的は、「子どもの暮らしが

より良くなること」であります。それには、できない課題に対して、①子ども自身ができるようにになりたいと思っているか②発達段階に合わせる事ができているか③使用する道具や子どもの特性にある背景を理解できているか、以上の3つの要素を意識していきたいと考えています。子どもが小さな成功体験を積み、日々の暮らしがより良くなるよう支援していきます。

WISC-IV 知能検査

お子様に合った
勉強の仕方を見つけるヒント



対象：5歳～16歳11ヶ月
料金：5,000円
公認心理師：金井